



# PTA 徳島高P連

徳島県高等学校PTA連合会

# だより

## 第26号

2024.2.15

発行・編集  
徳島県高等学校PTA連合会事務局

〒770-0003  
徳島市北田宮1丁目8番68号（教育会館2F）  
TEL.088-678-7775 FAX.088-678-7776  
HP <https://www.tokushima-koupren.com/>  
E-mail [tokukoup@pony.ocn.ne.jp](mailto:tokukoup@pony.ocn.ne.jp)  
印刷: 株式会社印刷

### 話し合いのついでに

徳島県高等学校PTA連合会

会長 山本裕史

(徳島県立城北高等学校  
PTA会長)

令和6年度能登半島地震に被害を受けられました皆様及びご家族関係者に、謹んでお見舞い申し上げますとともに、皆様の一日も早い平穏な日々が復することを祈念いたします。

会員の皆様には、日頃より徳島県高等学校PTA連合会の活動にご理解及びご協力を賜り深く御礼申し上げます。本年度は5月以降の活動制限が緩和されてきており、定例総会をほぼ例年通り行うことができました。大きな事故もなく滞りなく実施できましたことは、保護者の皆様のご理解・ご協力、諸先生方の献身の賜物です。重ねて御礼申し上げます。各種活動を状況に合わせて変更などの対応するこの能力を得られたことは、大変な時代を頑張ったからこそ得られたものだと感じています。年が明け、令和5年から令和6年になったその日から、甚大な災害や事件・事故が連続しています。各種情報機関から発せられる情報を見聞きし、その事実が衝撃を受けます

ことができたことは、思い出のひとつになりました。他の県の高P連の方々から発表の内容は勿論ですが、発表後に徳島県の席に帰ると立って皆さんが迎えているのを見て、徳島県高P連の仲の良さ、一つになつていっていると、感動した。その後お褒めをいただいたのは、本当に嬉しい言葉でした。

子どもが高校生になると、親は学校へ行くことも少なくなり、高校のPTA活動は、子育て最後のPTA活動です。子どもとの会話も増える、学校生活も見ることが出来る。保護者同士、役員同士

の交流もでき、交友関係も広がります。研修会や講演会に参加することで、勉強にもなると思います。大変なこともあると思いますが、楽しいことも沢山あるのだ、是非PTA活動に参加してもらえたらと思います。

今後一層、徳島県高等学校PTA連合会が発展されるよう、陰ながら応援させていただきます。6年間無事に努めることができ、ひとえに皆様方のご指導・鞭撻があつたのもです。心よりお礼申し上げます。最後になりましたが、皆様のご健勝とご多幸を祈念し

が、それと同時に、実は他人事にしてはいけないという思いに駆られます。特に災害については、いつ同じような状況に曝されるか予測できない状況です。30年以内で70-80%という数字が示されている後、これは30年以降に発生はしなく、1年後かもしないし、明日かもしない、ということを示しています。また、これを避けることはおそらく不可能です。今回被災された方々にはお見舞いを祈念しつつ、得られる情報からは、特に災害の情報とこれを復旧する際の対応、更には教訓としての課題をしっかりと整理し、認識させられました。大きな組織、例えば国や地方自治行政単位では大変重要なことですが、細かく細分していくと、各家庭や、ご近所、通う学校単位での課題抽出や対策が重要になることでしょう。平時ではなかなか気づかないことが今はよく見えるようになってきています。各家庭でも一度話題に挙げられてみては如何でしょうか。痛ましい映像等でショックを受けるかもしれませんが、自身の身をを守るための行動・対策が見えてくると感じます。家庭での話の中で、自分たちの小さなコミュニティですべきことが見えてくる、現在被災し、復興に励もうとする方々への必要とする支援助の形も顕現するはず。情報過多で我々の思考が

お礼の挨拶とさせていただきます。

偏りつつある現在ではありますが、これを逆手に取りその情報を整理し、自分たちに当てはめて考え、話し合えること、日本人らしい和と絆を大切にすることが、日本らしい和と絆を大切にすることが、家庭で話し合うということ、おの相手の思考が理解できてゆきます。お互いに何を考えているかわからない、ということが瓦解し融解しより良い関係になつていくことではないかと、一番身近な親子の間で話し合いよりわかりあえるようになる、それその考えを尊重しあう一番信頼できる関係になると考えます。その結果、心が豊かになり、外部から一目も二目も置かれるコミュニティになることではないかと、痛ましい惨状ではありますが、この機会に、自身をまた所属するコミュニティを守るとして視点で、各御家庭からお子さんとお話をされてみては如何でしょうか。

PTA活動でも子どもたちのために、良い学校生活をしてもらえるように様々な話し合いがなされています。また子どもたちの普段見えない顔も見えよう機会ですので積極的なご参加をいただきたく願います。

末筆になりますが、保護者の皆様、教職員の皆様、PTA運営に関わる全ての皆様のご健勝とご多幸を衷心より祈念します。



2 令和5年度  
総会報告  
令和5年度  
役員一覧  
第72回全国高等学校  
PTA連合会大会2023  
宮城大会に参加して

3 第65回  
中国・四国地区  
PTA連合大会に参加して  
令和5年度  
文部科学大臣PTA活動  
振興功労者表彰  
全国高等学校PTA連合会  
会長表彰 を受けて

4 会長あいさつ  
令和6年度  
事業計画(案)  
令和5年度  
高P連会費の  
納入について

6 令和6年度 事業計画(案)		令和6年度 高P連会費の納入について
R6. 5. 23(木)	第1回理事会 (教育会館)	◎全日制(本校) 400円×生徒数+均等割3,000円
6. 7(金)	徳島県高等学校PTA連合会並びに 県高等学校PTA連合会安全互助会総会 県高等学校生徒生活指導連絡協議会総会 中国・四国地区高等学校PTA連合会総会 (高知) 全国高等学校PTA連合会総会・各種委員会 (東京)	●全日制(分校) 400円×生徒数
6. 14(金)	中国・四国地区高等学校PTA連合会大会 (高知大会)	◇徳島中央高校・特別支援学校(本校) 140円×生徒数+均等割3,000円
6. 29(土)	第66回中国・四国地区高等学校PTA連合会大会 (高知大会)	◆定時制(本校併設)・特別支援学校(分校) 140円×生徒数
7. 12(金)	第73回全国高等学校PTA連合会大会 (茨城大会)	
8. 22(木)~23(金)	全国高等学校PTA連合会会長・事務局長会議、各種委員会 (大阪)	
10. 5(土)~6(日)	中国・四国地区高等学校PTA連合会、理事会・事務局長会議 (高知)	
11. 15(金)	全国高等学校PTA連合会第2回総会、会長・事務局長会議、各種委員会 (東京)	
R7. 2. 1(土)~2(日)	中国・四国地区高等学校PTA連合会事務局職員連絡会議 (高知)	
3. 7(金)		

〈お願い〉  
上記の計算で、「徳島県高等学校PTA連合会」あての専用振込用紙にて、5月25日までに納入してくださいませよう願います。



令和5年度

5

# 令和5年度 総会報告

令和5年6月11日徳島県教育会館において、令和5年度徳島県高等学校PTA連合会総会が開催されました。

後藤田正純徳島県知事・岡田理絵徳島県議会議長・榑浩一徳島県教育委員会教育長など多数のご来賓を迎えて4年振りに通常開催されました。後藤田知事からは、ブランク校則排除に向け各校での校則の見直しの話を頂き、子どもたちの学校生活最適化への強力な後押しをいただきました。

議事では事業報告・会計報告が議論され原案通り承認されました。役員改選の後、旧役員の方への感謝状が贈呈されました。

新役員の元、議事が進行し事業計画案と予算案が議論され承認されました。議事の後には、事務局から、自転車ヘルメット着用努力義務が課されたこともあり、ヘルメット着用促進の協力依頼がなされました。



## 令和5年度 役員一覧

役職名	氏 名	所 属
会 長	山本 裕史	北 城
副会長	堂本 幸子	西勝浦校
副会長	山形 拓生	東 城
副会長	山崎 真理	富 岡
副会長	絆地 俊輝	池
副会長	藤本 和史	高校長協会会長
副会長	藤川 卓司	会長所属高校長
幹 事	金森弘一郎	南 城
幹 事	氏家 啓	ノ 内
幹 事	田村かおり	富岡東羽ノ浦校
幹 事	東條小百合	富 岡
幹 事	西岡亜佑美	名 西
幹 事	大野 稔之	阿 波
監 事	笹尾 善文	海 西
監 事	野口 雅史	つ 部
監 事	佐川 千恵	る ぎ

# 第65回中国・四国地区高等学校 PTA連合会大会 岡山大会に参加して

徳島県立富岡東高等学校 PTA 会長 山崎 真理

として着任し、野球部監督に就任した頃の経験や苦労を話していただきました。

2018年に仙台育英学園の野球部監督に就任し、宮城県のみならず、東北の悲願でもあった全国制覇を達成し、2年連続で決勝戦まで勝ち進み、多くの人に感動と勇気を与えてくれた仙台育英学園野球部監督の『人生は敗者復活戦です。』という言葉に、来年以降の優勝を予感させる重みと深みを感じました。大変お疲れのところ、貴重な講演をしていただきましたことに深く感謝し、今後の益々

ご活躍にご期待申し上げます。

大会趣旨の中に、『子供たちがどんな人生の暗雲も切り拓いて、虹色に輝きながら、光差す未来へ力強く羽ばたいていく景色を共に創り上げていきましょう』とあります。大会主催者、講演者やパネリストの方々が仰っていたことも共通します。全国から数千人が集まり、交流し、共有した情報を、私も今後のPTA活動に役立てたいと存じます。今大会に参加させて頂き、大変有意義な時間を過ごすことができ、心より感謝申し上げます。

ご活躍にご期待申し上げます。

大会趣旨の中に、『子供たちがどんな人生の暗雲も切り拓いて、虹色に輝きながら、光差す未来へ力強く羽ばたいていく景色を共に創り上げていきましょう』とあります。大会主催者、講演者やパネリストの方々が仰っていたことも共通します。全国から数千人が集まり、交流し、共有した情報を、私も今後のPTA活動に役立てたいと存じます。今大会に参加させて頂き、大変有意義な時間を過ごすことができ、心より感謝申し上げます。

第65回中国・四国地区PTA連合会大会は令和5年7月14日(金)に岡山県倉敷市民会館ホールにおいて開催されました。今年度のテーマは、『集まれ、こころはればれ、晴れの国』、『集まれ、話す』の大切さ再発見』となり、各地からは1200名の方に、そのうち徳島県からは46名の方にご参加頂きました。

大会の全体の流れとしましては、まず会の開催にあたって、全国高等学校PTA会長よりご挨拶がありました。リアルに顔を合わせて対話することの大切さを実感し、共に学び合いながらPTA活動を行ってほしい。という内容が述べられました。その後は各関係者からの挨拶、講演会、協議といった順に行われました。講演の講師は作家・写真家・建築家である稲葉なおと氏で、題目は『倉敷から始める家族旅』でした。稲葉氏は建築家としての視点で岡山県のアイビースクエアや、歴史的建築物、渋沢栄一等の歴史的人物について語られました。稲葉氏独特の我が子に語りかけるような話し調と、舞台スクリーンが切り替わることに一杯

に映し出された美しい写真も相まって、会場全体が一体感に包まれ、まるで稲葉氏と共に世界旅行に出かけたような心地になりました。

協議会では、序盤に倉敷市の3校の高校生による発表がありました。コロナウイルス蔓延下の先行き不透明な状況でも学びを諦めず、地域の社会へと交流の輪を広げることで社会と関わりを深めていく高校生の様子を知ることができました。続いて、広島県立皆実高校と岡山県立倉敷南高等学校、そして徳島県立吉野川高等学校のPTA顧問から、コロナ禍で挑んだ再編統合の取り組みに関する活動課題と、それぞれの高校のPTA活動内容について発表がありました。本県の徳島県立吉野川高等学校からは現顧問である瀬尾陽子氏が発表を務めました。協議会における発表を傾聴した中で、今でこそ緩やかに実施されつつある学校行事も、過去数年間は制限されており、幾度となく頭を悩ませたことを思い出し、我が校だけでなく他の高校も同じ状況下にあったことを実感しました。今回のような予

# 第72回全国高等学校PTA連合会大会 宮城大会に参加して

徳島県立城南高等学校松柏会(PTA) 会長 金森 弘一郎

戦国武将 仙台藩祖・伊達政宗公によって礎を築かれた宮城県仙台市において第72回全国高等学校PTA連合会大会2023宮城大会が、令和5年8月24・25日の二日間、仙台市カメイアリーナ仙台他5会場にて『豊かな杜にむく虹の光』、『しなやかな強さで生き抜く力』を大会のテーマとして開催され、徳島県からは32名が参加しました。

一日目は6会場に分かれて分科会が行われ、私は第2分科会の『学校教育』ICで広がるキャリアデザイン、広島工業大学情報学部 情報コミュニケーション学科 教授 宮城教育大学名誉教授の安藤明伸氏の基調講演『AI時代に求められる学びとキャリアデザイン』、自己革新と技術活用の両立、という演題の講演をお聞きしました。技術の進歩により、仕事の形態や求められるスキルが大きく変化していることやAIによる人間の業務の補充と共生、人間の感情や創造性について学びました。特に興味深かったのは、Society1.0(狩猟社会)、Society2.0(農耕社会)、Society3.0(工業社会)、Society4.0(情報社会)、そして、経済発展と社会的課題の解決を両立する新時代 Society5.0(人間中心の社会)の幕開けと、求められる能力についてでした。はじめは私や子供たちが新時代を生き抜くことができるのかと不安に思いましたが、細かく分析していただくことによって、自ら未来を切り拓いて、人間だからこそできる価値を見出すことにより、新たな生活やビジネスを創造できると気持ちが期待へと変化しました。

その後、コーディネーターの末永幸氏

やパネリストの登本洋子氏・岡田康佑氏・植木徹郎氏とのパネルディスカッションでは、教育現場でのICT導入による生徒の変化や宮城県や全国での取組みや課題を共有し、並行して参加者はスマートフォンでQRコードを読み込み、チャットを通じて、それぞれの先生へ質問し、回答していただきました。まさにICTの活用だと感じました。

そして、二日目は全体会となり、『白A』によるプロジェクトセッションマッチングのアクションで満席の会場が一気に盛り上がった後、開会式では国家斉唱から始まり、宮城大会実行委員長 町田さやか氏、全国高等学校PTA連合会会長 山田博章氏が挨拶され、来賓として、文科科学大臣 永岡桂子氏、宮城県知事 村井嘉浩氏、仙台市長 郡和子氏が祝辞を述べられました。

そして、表彰式では、徳島県からPTA活動振興功労者表彰として、徳島県高等学校PTA連合会元会長 野田誠氏、吉野川高校PTA前会長 瀬尾陽子氏。全国大会会長表彰個人に吉野川高校 瀬尾陽子氏が表彰されました。長年のご尽力に深く感謝申し上げます。

メインイベントは仙台育英学園高等学校 硬式野球部監督 須江航氏による記念講演でした。8月23日全国高等学校野球選手権大会にて準優勝を果たし、前日に仙台へ凱旋したばかりの須江氏には、健闘をたたえる会場内からの大拍手が起りました。埼玉県から仙台育英学園に進学し、野球部に入部したものの一度もレギュラーになれなかったことや、大学に入学後は野球部で学生コーチを務め、卒業後は仙台育英学園の系列中学に教員

測不可能な状況において、今後PTAはどのような在るべきか、改めて考えさせられるきっかけとなった協議会でした。

また大会の二日間では、県内各高校で活躍のPTA役員の皆様と親睦を深め、意見を交換し合えることもできました。

今回の大会のテーマである『集まれ、対話する』は、予測不可能な状況下でも常にPTAとして、子供たちが学び、充実した生活を送るための学校について考えることを目的に作られました。私もこのテーマを軸とし、地域と、学校と、生徒と、PTAが一つのチームとなることで、より良い学校づくりを行いたいと思います。また、子供たちと共に成長を

重ねながら、次世代にもこの風習を紡ぎたいと感じます。

最後にはなりましたが、コロナ禍の大変な状況の中で大会の準備を進め、暖かくお出迎えくださった大会の関係者の方々には、このような貴重な機会を作ってくださったことに変え感謝いたします。

今回得た貴重な経験は、今後のPTA活動やより良い学校づくりのための参考にしていきたいと思います。

ともに参加しておられた皆様、大変お世話になりました。

貴重な機会を作っていただいた大会関係者の方々、心より感謝申し上げます。

# 令和5年度 文部科学大臣PTA活動振興功労者表彰 全国高等学校PTA連合会会長表彰を受けて

徳島県立吉野川高等学校 PTA 前会長 瀬尾 陽子

この度、令和5年度PTA活動振興功労者表彰を文部科学大臣より、全国高等学校PTA連合会会長表彰(個人の部)の2つを受賞いたしました。この度、このような栄誉ある賞をいただきましたことは、身に余る光栄であり、心より感謝申し上げます。

私が徳島県高等学校PTA連合会に携わることになったのは、平成26年度に板野高校のPTA会長を任された時からです。平成27・28年度、令和2・4年度は吉野川高校PTA会長と、6年間高P連の監事・幹事・副会長と経験させて頂きました。最後の3年間は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、思うように活動が出来なかったことが心残りです。

中四国大会・徳島大会が中止になったことは、役員をはじめ多くの保護者の皆さん方と事前準備や会議をしていた為、本当に残念で悔しかったです。

高P連で活動させてもらった6年間は、子供たちが笑顔で元気に、充実した学校生活を送れるようにとの思いで活動してきました。

県教育委員会での魅力化推進委員会やいじめ問題の会など、沢山の会議に参加させて頂いた話し合いをする中で、徳島県高等学校や子供たちの現状や将来の課題を思う当たりにも、心を痛めることが嬉しく思うことや、色々な経験や考え方を沢山の方から学ばせて頂きました。

令和5年度中四国大会・岡山大会では、徳島県高P連の代表として研究協議で発表という大役を任せられ、学校の先生方や役員の皆様の協力のもと無事に成功する